

第 33 回 核医学夢工房のご案内

第 32 回夢工房に引き続き、ドパミントランスポーターシンチグラフィの技術的検討の報告と、現在臨床で多くの経験をお持ちの 5 施設の先生方に、主に検査の運営についてお話をさせていただきます。また、この検査の臨床的有用性について特別講演を予定しています。皆様の活発な討論の場となれば幸いです。多数のご参加をお待ちしております。

日時：2015 年 1 月 31 日(土) 15 時～17 時 50 分

場所：岡山国際交流センター(多目的ホール)

1. 技術検討 15:00～15:30 倉敷中央病院 松友 紀和

「ドパミントランスポータイメージに対する解析方法の違いについて

- Dat View と Dat Quant の比較-

松江赤十字病院 陰山 真吾 先生

2. テーマ・ディスカッション 15:40～16:50

「ダットシンチの実際」

シーメンス装置	岡山大学病院 医療技術部	中嶋 真大 先生
	鳥取大学医学部附属病院放射線部	奥田 恭平 先生
GE 装置	島根大学医学部附属病院 放射線部	矢田 伸広 先生
	岡山旭東病院診療技術部 放射線課	伴 匡史 先生
東芝装置	水島協同病院 放射線・MR科	西原 淳司 先生

各施設 10 分

3. 特別講演 17:00～17:50 岡山大学病院 小橋 利美

「 ^{123}I -FP-CIT SPECT(ダットスキャン)の臨床的有用性」

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科脳神経内科学

神経内科 佐藤 恒太 先生